

# 2018年度 第3四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	正孔輸送材料、電子輸送材料、発光材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

## 第3四半期累計

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

連 結	2017年度	2018年度	前年同期比
売 上 高	28,154	26,822	▲ 1,332
営 業 利 益	2,992	2,131	▲ 861
経 常 利 益	3,582	2,386	▲ 1,195
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,405	1,702	▲ 703

為替レート

\$=111.78円  
W=0.1000円

\$=111.33円  
W=0.1002円

\$=ドル  
W=韓国ウォン

- **売上高**は、アグロ、その他を除く各セグメントで減少し、  
1,332百万円の**減収**
- **営業利益**は、売上高の減少や原燃料価格の高騰等による  
売上原価率の上昇等により、861百万円の**減益**
- **経常利益**は、営業利益の減少に加え、  
為替差益の減少等により、1,195百万円の**減益**
- **親会社株主に帰属する当期純利益**は、  
経常利益が減少したものの、  
非支配株主に帰属する当期純利益が減少(利益要因)した  
ことにより、703百万円の**減益**に留まる

(単位:億円)

科目	2018年 3月末	2018年 12月末	増減
(流動資産)	250	274	+24
現預金	67	92	+25
売上債権	123	103	▲19
棚卸資産	56	72	+16
その他	4	6	+2
(固定資産)	296	289	▲7
有形・無形 固定資産	201	205	+3
投資有価証券	82	69	▲12
その他	12	13	+0
合計	547	564	+16

科目	2018年 3月末	2018年 12月末	増減
(負債)	188	199	+11
仕入債務	55	53	▲1
有利子負債	74	89	+15
その他	59	56	▲2
(純資産)	358	364	+5
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	+0
利益剰余金	84	98	+13
その他	75	67	▲7
合計	547	564	+16

## 財務指標

- ・自己資本比率 60.8% ⇒ 59.6%
- ・D/Eレシオ 0.22倍 ⇒ 0.27倍

有利子負債 74億円 ⇒ 89億円

## 第3四半期累計

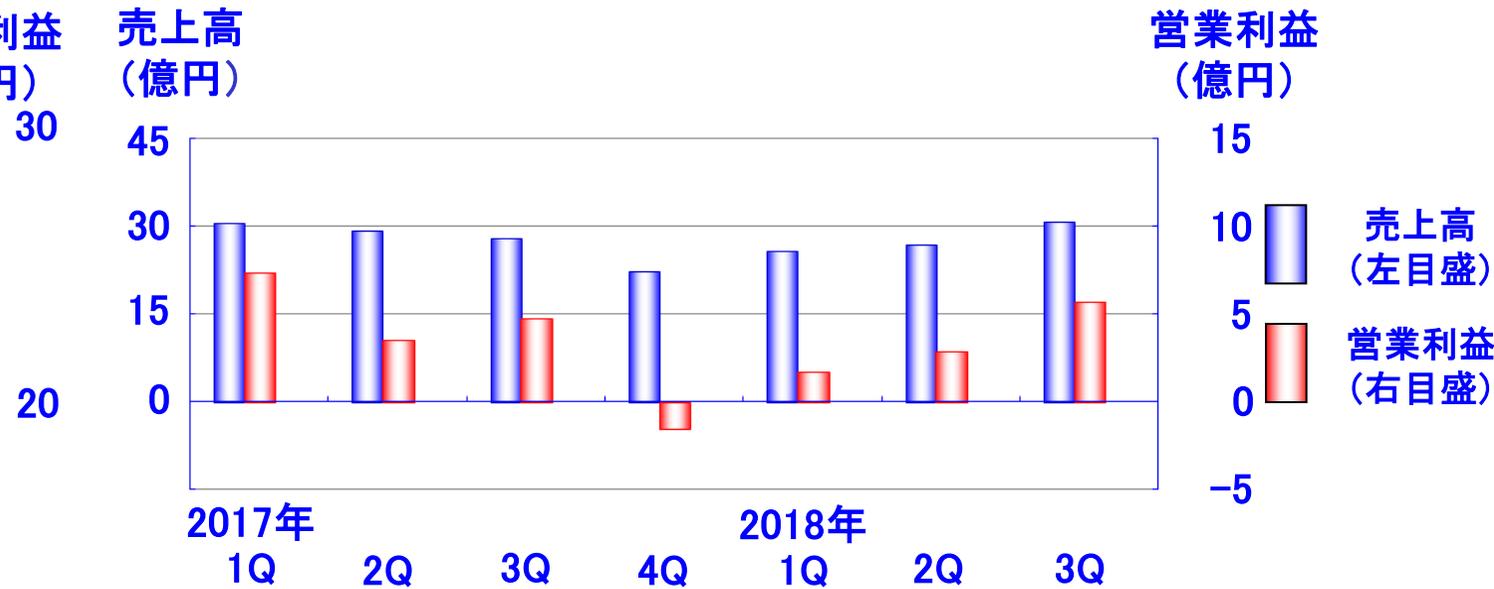
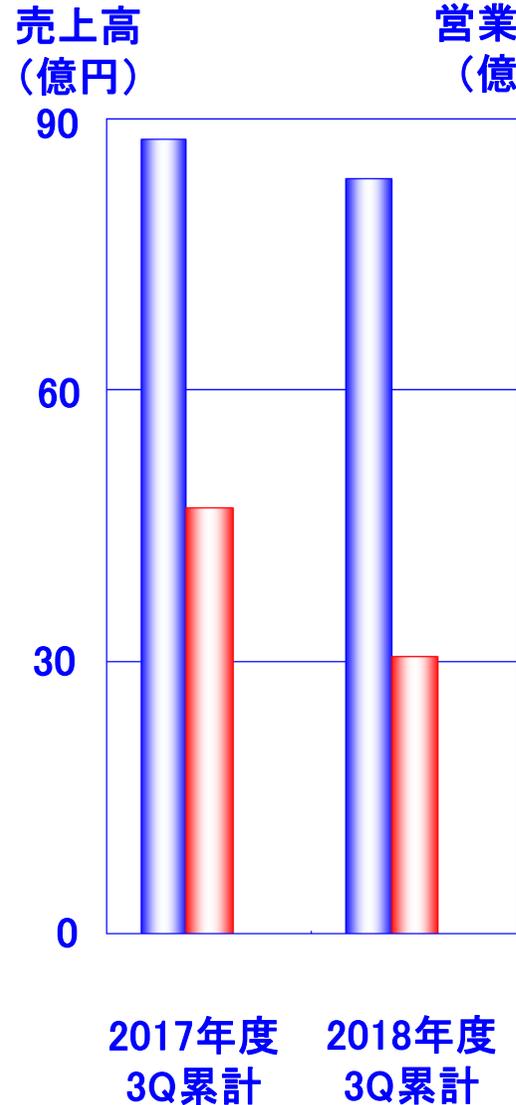
単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

セグメント	2017年度	2018年度	前年同期比
機 能 性 色 素	8,770	8,346	▲ 423
機 能 性 樹 脂	9,099	9,071	▲ 28
基 礎 化 学 品	5,383	5,140	▲ 243
アグロサイエンス	2,538	2,588	+ 49
物 流 関 連	2,236	1,538	▲ 698
そ の 他	125	136	+ 11
合 計	28,154	26,822	▲ 1,332

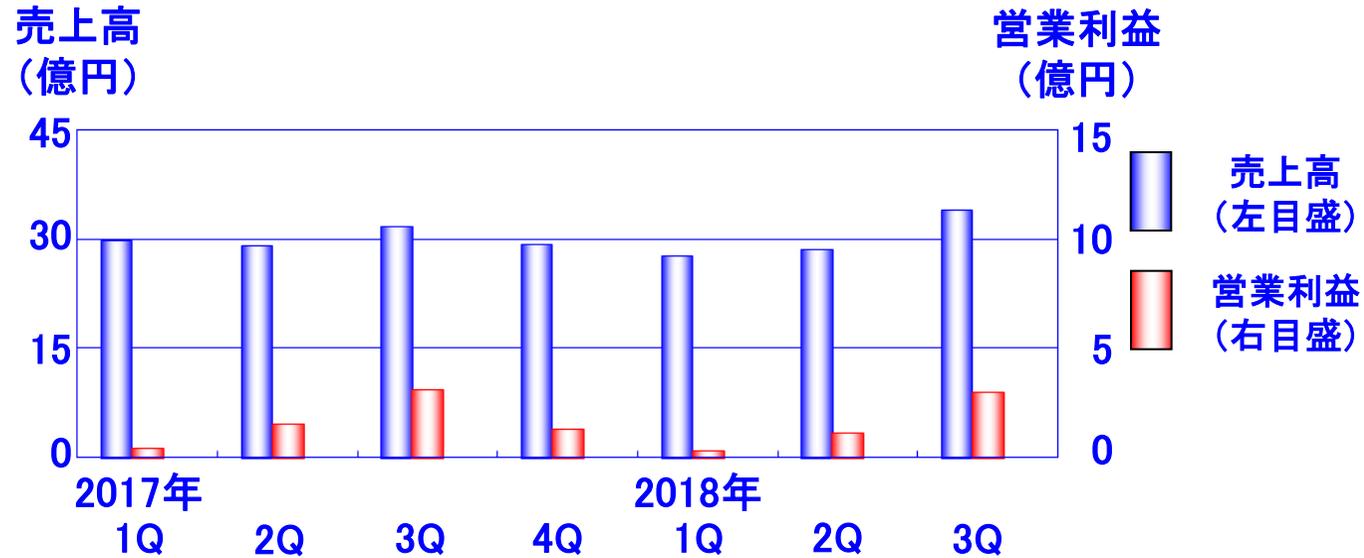
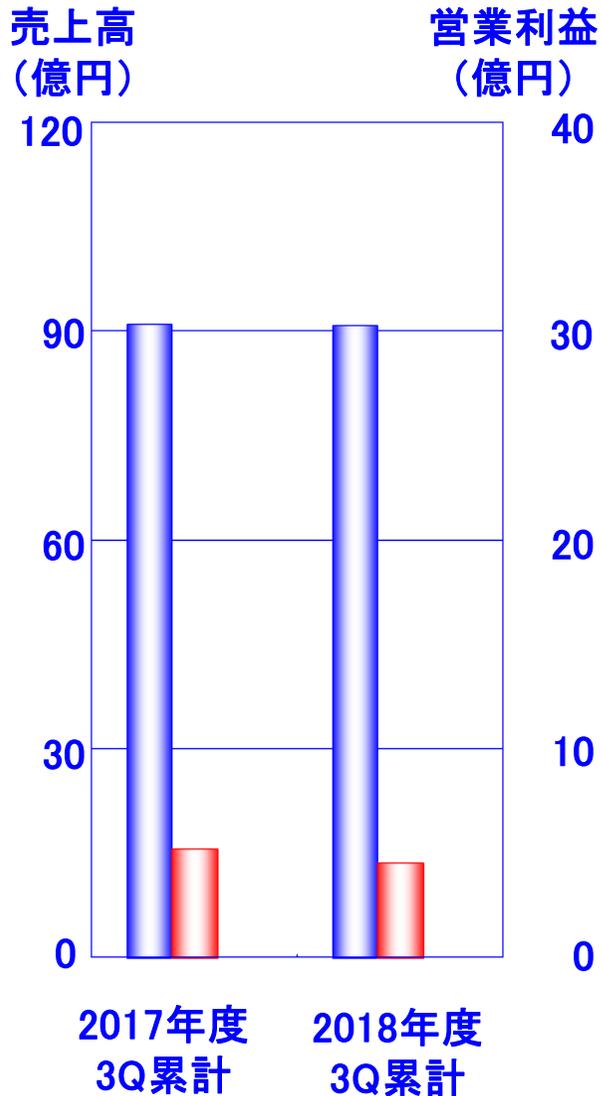
第3四半期累計

 単位：百万円  
 表示：百万円未満切捨

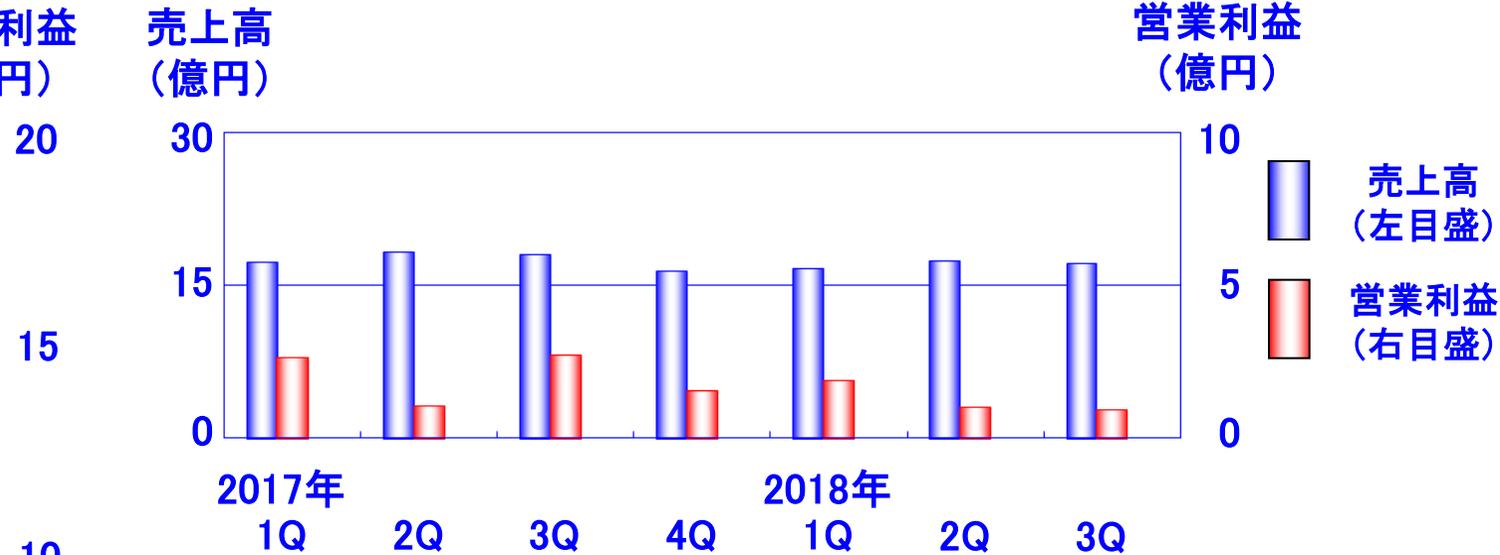
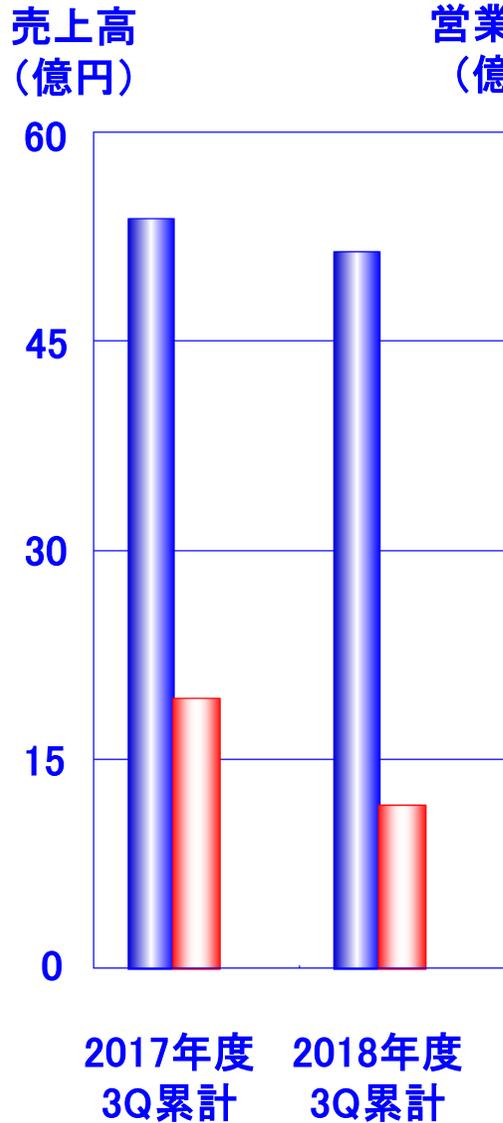
セグメント	2017年度	2018年度	前年同期比
機能性色素	1,567	1,021	▲ 545
機能性樹脂	517	452	▲ 65
基礎化学品	647	390	▲ 256
アグロサイエンス	▲ 224	▲ 95	+ 129
物流関連	493	366	▲ 126
その他	▲ 10	▲ 4	+ 6
合計	2,992	2,131	▲ 861



イメージング材料	・プリンター向けで需要低迷が継続しており、減収	↓
有機EL材料	・ディスプレイ分野での需要の減少と競争激化により、減収	↓
色素材料	・デジタル家電向けアルミ着色用染料が、引き続き堅調に推移し、前年同期並み	→



樹脂材料	・ウレタン原料やタイヤ用途向けの材料が堅調に推移し、前年同期並み	➡
建築材料	・ウレタンの材料販売事業が堅調に推移し、前年同期並み	➡
特殊化学品	・医薬向けが競争激化で減少したものの、樹脂関連向け等の需要が増加し、前年同期並み	➡



過酸化水素 ・紙パルプおよび環境分野向け等の需要が減少し、減収

誘導品（※） ・輸出向けの需要が減少し、減収

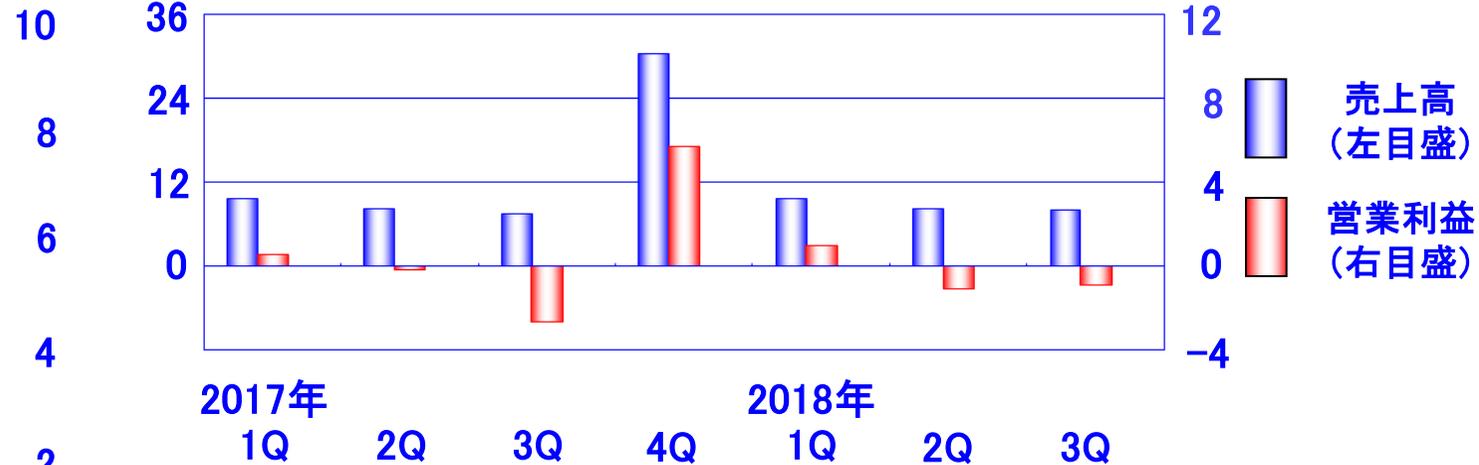
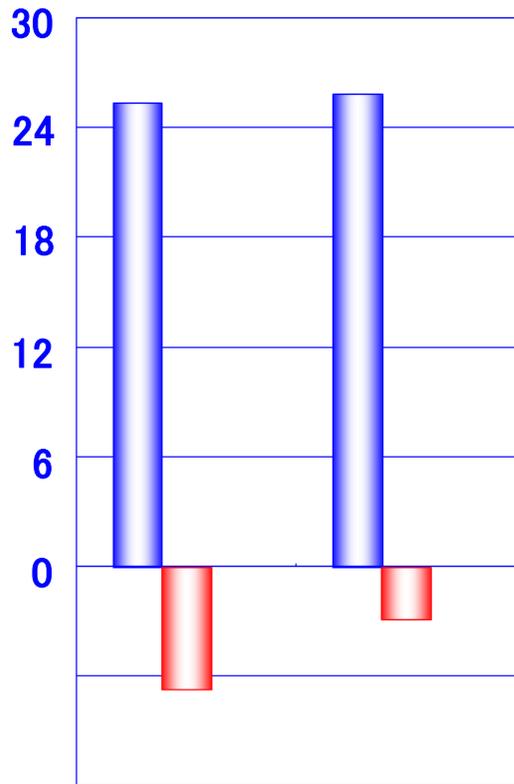
※過炭酸ナトリウム、過酢酸等

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



アグロサイエンス

・家庭園芸向け除草剤等は、引き続き堅調に推移し、前年同期並み



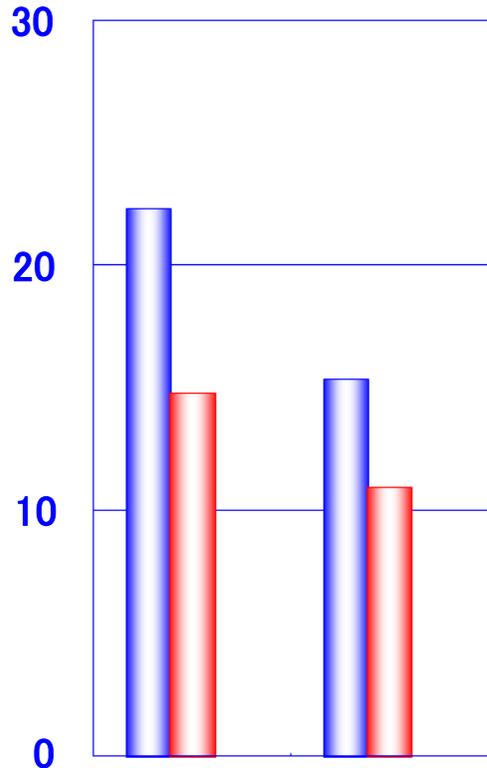
2017年度 3Q累計      2018年度 3Q累計

売上高  
(億円)

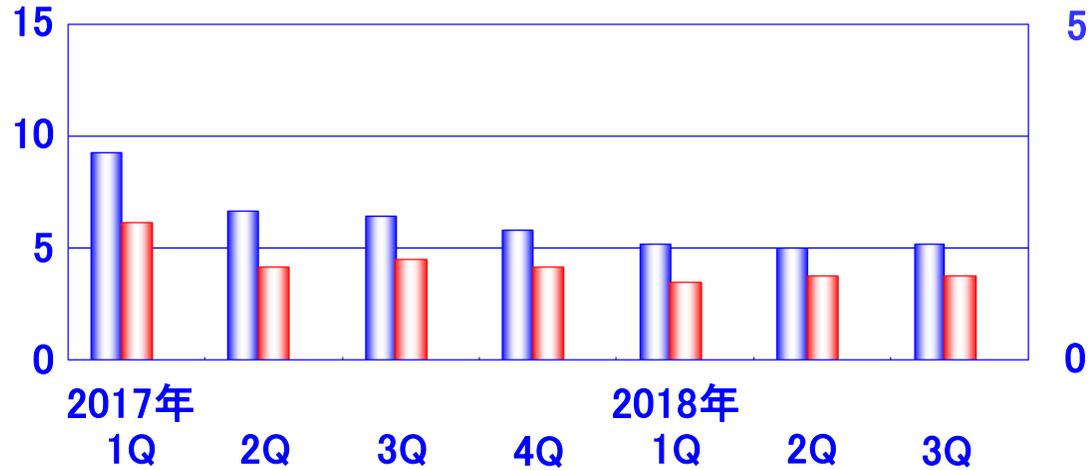
営業利益  
(億円)

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



2017年度 3Q累計    2018年度 3Q累計



■ 売上高 (左目盛)  
■ 営業利益 (右目盛)

物流関連

・輸出の取り扱い量や、倉庫保管量の減少により、  
減収

